

○事業所名	おれんじキッズ・アニマートさのよしみず駅前		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		令和7年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数) 45名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 17日		令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しく来所し、発達に合わせた活動に取り組んでいること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同年齢の子どもたちでグループをすることにより、発達段階に合わせた遊びや課題の提供ができています。</li> <li>・少集団での活動なので、子どもの興味や好きな物などを素材に取り入れ、興味を持たせながら活動を行っている。</li> <li>・子ども同士の関わりが広がるように、適宜大人が仲立ちをしながら遊びをつないでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてのスタッフが子どもの発達についての基本的な知識や、児童発達支援ガイドラインの内容を理解できるように定期的な読み合わせを行っている。</li> <li>・事業所内でのケースカンファレンスを行い、対応方法を共有していく。</li> </ul>
2	療育をチームで行うことで、安定した質で療育を行えていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験や知識のあるスタッフと経験の浅いスタッフでチームを組み、それぞれの視点で意見を出し相談しながら療育を行っている。活動後に振り返りを行い、次の活動に反映させている。</li> <li>・経験の浅いスタッフも、肯定的な声かけや具体的な指示で分かりやすく対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのスキルアップの為に、今後も経験に合った研修を受け、学びをスタッフみんなで共有しながら、専門性を高められるようにしていく。</li> </ul>
3	移行支援として、ニーズがあった場合に所属園との連携を図っていること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様からのニーズがあった場合に、所属園の先生と子どもの様子を共有したり見学を行っている。</li> <li>・所属園の先生に普段の様子をお伺いしながら、所属園でのつまづき等に対して療育で対応することにより、安定した園生活につなげられるようにすすめている。</li> </ul>	送迎時の様子や健康面についての確認のみでほとんど情報共有を行っていないケースもあるので保護者様に所属園との連携を図れることをお伝えしながら、ニーズを引き出し、連携がとれるようにする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様と日々の療育についてや子どもの様子を伝えあうこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用している子どものほとんどが所属園への送迎なので、保護者様とお会いして話す機会が少ない。連絡帳を活用し、その日の活動内容や様子を伝えているが、書面では様子が伝わりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に療育を見学する機会を設けながら、お子様の理解や対応方法を共有する。</li> <li>・半年に1回の面談だけではなく、対面で面談をする機会を増やす。保護者様にご協力いただき、定期的に保護者様が送迎を行う日を設ける。</li> </ul>
2	ペアレントトレーニングや保護者様同士の交流の機会が少ないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用している子どものほとんどが所属園への送迎なので、保護者様同士が顔を合わせる機会が少ない。</li> <li>・今年度は事業所での保護者会を開催した。思っていたよりもたくさんの方々にご参加いただけたが、予定が合わずに参加できなかった保護者様もいらっした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様同士の交流と育児相談を目的に、月に1回、1時間程度での交流の場を設けながら、相談しやすい環境を整える。</li> <li>・マジックミラーのお部屋を活用し、普段のお子様の様子や支援方法のご説明を行えるようにする。</li> </ul>
3	非常災害に備えた避難訓練の実施等、保護者様への周知が行き届いていないこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練については紙のおたよりや連絡帳で知らせているが、安全計画などについてはお知らせをしていない。</li> <li>・避難場所については、地図をお渡ししながらお伝えしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練等の年間計画を保護者様にもお伝えする。</li> <li>・今後もおれんじキッズだよりやリズムを通じて避難訓練をお伝えしていく。</li> <li>・年に1回は対面で、地図をお渡ししながら避難場所の説明を行う。</li> </ul>